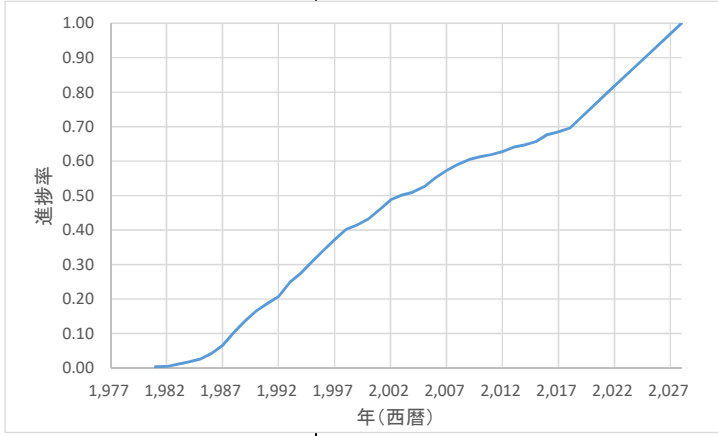


平成30年度再評価対象事業
(対象：平成25年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
	再評価 時点 H25	浜川 河川整備交付金 事業(総合流域 防災事業)	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 280m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=76億円 工期：S56～H34 改修延長：L=3,330m 計画流量：280m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：堀削・築堤 護岸、橋梁7基、堰12基	国道207号バイパスの古場切橋まで完成している。今後、これより上流の用地買収の促進や工事進捗を図っていく。 (H24末進捗率 63%) (年平均進捗率 2.0%)	(過去の災害実績) H2.7洪水 浸水戸数 285戸 農地浸水面積 110ha (地域の状況) 近年、水田地帯において住宅の建設が行われてきている。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算出した。 (B/C) = 15.3	・再生材の積極的 利用 ・建設副産物の有効 利用	再評価実施後5 年が経過	継続
	現時点 H30	浜川 河川整備交付金 事業(総合流域 防災事業)	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 280m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=82億円 工期：S56～H44 改修延長：L=3,330m 計画流量：280m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：堀削・築堤 護岸、橋梁7基、堰12基	国道207号バイパスの古場切橋上流100mまで完成している。今後、これより上流の用地買収の促進や工事進捗を図っていく。 (H29末進捗率 63%) (年平均進捗率 1.7%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 特になし	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算出した。 (B/C) = 13.8	同上	再評価実施後5 年が経過	昭和37年、51 年、平成2年等 の洪水被害を 軽減するため、 流路是正、狭窄 部解消を行い、 治水安全度を 向上し、地域住 民の安心・安全 を確保するた めには、当事業 の継続が必要 である。
	理由等			漁業者との調整で施工 時期が制限されること に伴う仮設費用の増加 での事業費の増 施工時期が制限される ことと堰の統廃合の調 整に時間を要したこと による工期の延長			前回再評価時と 比較し、工期延長 及び全体事業費 の増によりCが増 大し、費用対効果 (B/C)の減とな った。			